

## ネクストリーダー育成ワークショップ

### モノづくり企業の未来を創るテクノロジー活用と事業開発アプローチ

#### モノづくり企業の新規事業の実践（第13期）

- 幅広い視点から考え・整理できる力を身に付け、技術と時代の変化に対応し、新しい価値づくりに挑戦する「リーダー」を養成します。
- 社会起点で目的志向であり組織の境界を越えて共創しながら価値創造ができる個人（＝インタープレナー）の視座とスキルを身に付けることを目指します。

#### 1.1 実施時期・回数・場所

[実施時期・回数] 2024年7月～11月（計5回シリーズ）

[実施方法] 1、3、5回は集合開催（於：当センター）、2回、4回はZoomによるオンライン開催

回/日程	開催形態	各回のテーマ
第1回 (7/25)	集合 (OSTEC会議室)	モノづくり企業におけるファシリテーションの基本 バリューチェーンとモデリングデータを活かした価値の最大化
第2回 (8/26)	オンライン	仮説検証反復によるゼロからの事業化手法
第3回 (9/26)	集合 (OSTEC会議室)	AIとデータのビジネス活用による価値の変革
第4回 (10/31)	オンライン	商品・サービスの付加価値を最大化する事業づくり
第5回 (11/28)	集合 (OSTEC会議室)	異なる意見をまとめて発表する力

#### 1.2 実施内容

- ・ファシリテーションの基本
- ・講義（各分野の有識者が事例を交えてポイントを解説。課題と方向性をレクチャー）
- ・グループディスカッション、発表（講義で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表）
- ・全体討議による議論やアイデアの深掘り
- ・第1、3、5回は1.5時間程度の意見交換会を開催（当センター内開催。19時頃終了）

#### 1.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、リーダー、中堅社員（自社で参加にふさわしいと思われる方）
- ・募集人数：25名（定員に達し次第〆切）  
\*参加者数が10名に満たない場合は、開催を見送る場合があります。


#### 1.4 参加費

- ・賛助会員：173,250円/名（消費税込み）
- ・非賛助会員：231,000円/名（消費税込み）  
\*参加お申し込みを受け付け後、請求書をメールにて送付いたします。

## 1.5 講義テーマと講師

\*講師との調整により内容が若干変更となる場合があります


	講義内容	(敬称略)
第1回 7/25	<p>「データを活用したバリューチェーンの最大化、攻めと守りの事業展開」 ～建設データの事例から学ぶ～ 大和ハウス工業(株) 本社技術統括本部 建設 DX 推進部 次長 宮内 尊彰</p> <p><b>講義概要</b> BIMを中心としたデジタルバリューチェーンを活用し、建設業の働き方改革や業務効率化、さらには製品の価値向上など、ものづくりのプロセス改革を進めています。ものづくりに関わる情報の構造化やデジタル化を社内改革として推進する方法を、守りから攻めへと事業を変革していく事例から学びます。</p> <p>[略歴] 1998年、大和ハウス工業株式会社に入社。構造設計部(建築系)を経て、2017年に発足した「BIM推進室」へ異動し、BIM構築をスタートさせる。デジタルコンストラクションの取り組みを開始し、2020年に発足した「建設デジタル推進部」次長に就任。2022年からは「建設DX推進部」に改称した組織で、デジタルコンストラクションからDXを目指している。</p>	
第2回 8/26	<p>「仮説検証反復によるゼロからの事業化手法」 ～リーンローンチパッドの使い方、活かし方～ スタートアップ・ブレイン(株) 代表取締役 堤 孝志</p> <p><b>講義概要</b> ビジネスのアイデア段階や既存のビジネスを拡大して行く段階で、必須とも言える手法が「顧客開発モデル」。顧客開発モデルとは何か、なぜこの手法を取ることで新規事業の成功確率が高まるのか、具体的なプロセスは？実際の事例も交えながら手法を学びます。</p> <p>[略歴] 事業化プロセスを活用してスタートアップの投資育成を行うシードアクセラレーターを運営。総合商社、シリコンバレー及び国内のVCでの通算20年以上にわたる新規事業の立ち上げとベンチャー投資の経験と、「顧客開発モデル」等の事業化手法の知見とをブレンドした経営支援が強み。東京理科大学工学部卒、McGill大学MBA、早稲田大学客員教授。訳書に「アントレプレナーの教科書」等がある。</p>	
第3回 9/26	<p>「AIとデータをビジネスで活用する方法」 ～事業と業務が生む価値の変革を目指して～ (株)エクサウィザーズ AI Technology Engineering部 事業開発 (株)ハイパーデジタルツイン C00 長谷川 大貴</p> <p><b>講義概要</b> AI、データ分析、近年では生成AIなどの先端技術導入に関心はあるものの、「どのような場面でAI活用すればよいかわからない」「費用対効果の見立ての仕方がわからない」「データは蓄積しているはずだがマネタイズに繋がっていない」等の課題を抱える組織は少なくありません。講師のプロジェクト案件実績をもとに、モノづくりや新規事業にAIとデータを活かす方法を学びます。</p> <p>[略歴] 京都大学工学研究科修了。2011年、東京電力にエンジニアとして入社し、震災直後の混乱の中緊急工事に従事。その後、経営コンサルティングファームのデロイト・トーマツコンサルティングに入社、西日本企業の経営改革に注力。2018年、株式会社エクサウィザーズへ参画し、製造業、インフラ企業、大学等西日本エリアにおけるデータ&amp;AI活用PJを多数リード。2021年4月～2023年3月は執行役員として、全社の事業拡大及びIPOを牽引。現在は生成AIや最新AI技術のR&amp;Dやプロダクト開発を実施。大学発ベンチャーの立ち上げ等、複数スタートアップで事業開発を行いつつフリーランスでも活動中。</p>	

<p>第4回 10/31</p>	<p>「商品・サービスの付加価値を最大化する方法 ～キーエンスの高収益に学んでもっと利益を上げるために～」 株式会社カクシン 代表取締役 CEO 田尻 望</p> <p><b>講義概要</b> BtoB 企業における顧客の潜在ニーズの探り方、顧客が価値と感じるものの捉え方、商品やサービスの付加価値の最大化、競合との差別化、新マーケットイン型構造、新商品企画・新事業の進め方を学びます。題材には、キーエンスの超高収益を支える圧倒的な利益を生み出す商品やサービスを探り上げます。</p> <p>[略歴] 大阪大学基礎工学部卒業。キーエンスにてコンサルティングエンジニアとして大手システム会社の業務システム構築支援など年 30 社をサポート。独立し、2017 年に(株)カクシンを設立。「構造が成果を創る®」「最小の人の命の時間とコストで最大の付加価値を創出する」をコンセプトに、「価値構築経営の構造®」として、圧倒的な成果を生むコンサルティングセールス育成、販売促進立ち上げ、商品企画セッションを提供。年商 10 億円～4,000 億円規模のコンサルティングなどを行い、2.5 か月で月 6000 万、年 7 億円の利益改善といった企業を輩出。著書「付加価値のつくりかた」は10万部突破。</p> 
<p>第5回 11/28</p>	<p>グループ対抗ピッチ「データ活用で日常の『不』を解消（克服）するイノベーターでエクセレントなビジネスを生み出せ！」 グループ対抗でビジネスアイデアをピッチ。各グループの発表を審査して表彰。</p>

**ファシリテーターについて：**  
**黒田 聡** ((株)情報システムエンジニアリング 代表取締役社長、  
(一財)テクニカルコミュニケーター協会 評議員、公益活動企画会議議長)

東京生まれ。実務家として情報通信業を営む企業を経営する傍ら、テクニカルコミュニケーション技法の社会実装活動を展開。業界団体の創設にも関わり、本技術領域における日本の有識者として他国組織や有識者との交流も主導している。

2018 年度から 2021 年度に大阪大学 CO デザインセンターの招へい准教授として工学コミュニケーションの研究と育成に関与。京都大学大学院医学研究科の非常勤講師、大阪大学大学院医学系研究科の招へい研究員や招へい教員としてヘルスコミュニケーションおよび健康情報の知識化と構造化の研究に関わりながら高齢社会に適したコミュニケーション技法の研究と社会実装に努めている。2023 年度から大阪大学大学院工学研究科の招へい准教授として、ビジネスエンジニアリングに関する研究と育成に従事する。構造化技法に関する技術者として著書多数(いずれも共著)。情報提供システムおよび情報提供方法関連特許を日本、米国、中国などで多数取得している発明家でもあり、近年は実績を背景としたインタープレナーとして、異分野の専門集団との共創によってウエルビーイングの実現を目指すデータ活用事業を推進している。



### 1.6 基本的なスケジュール

\* 第 5 回は 13:00～17:30 ですが進行が異なります

スケジュール	実施項目
(10:00～12:00)	オリエンテーション・ファシリテーションの基本の講義 * 第 1 回のみ
13:00～13:15	チェックイン (ワークショップの進行・参加者間の自己紹介)
13:15～14:00	講義 (前半) Q & A 5 分含む
14:00～15:10	グループ討議①・発表・講師講評
15:10～15:15	振り返り
15:25～16:10	講義 (後半) Q & A 5 分含む
16:10～17:20	グループ討議②・発表・講師講評
17:20～17:30	振り返り
(17:30～19:00)	意見交換会 (講師およびファシリテーターも参加) * 第 1、3、5 回のみ

## 2. お申し込み方法

- ・参加申込書に記入の上、メールでお送り下さい。
- ・グループワークの性格上、できるだけ同一の方が5回を通じてご参加ください。

## 3. 参加申込み先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター 技術振興部（担当：篠崎）  
E-mail:innovation@ostec.or.jp

### 受講者の声

- ✓ゼロベースでビジネス案を考える機会は中々経験できないので、非常に有意義だった。
- ✓講師が良く、アイデア構想から製品化まで実施された経験や社内突破の話は貴重だった。
- ✓特にファシリテーションの基本と最終発表は有意義だった。
- ✓自身の仕事がお金になるのか？は不安だったので、マネタイズ戦略が非常に勉強になった。
- ✓グループワークを通して、どれだけAIやIoTに関連する知識を入れても、正しくファシリテートできないと、集団で良いアイデアを出すのが難しいことを、身をもって経験できた。
- ✓バックグラウンドの異なる企業参加者との議論で異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザーとの打合せでも、ユーザーの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓社内の新規取組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進め方など、今回の経験が生きた。
- ✓堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

### ＜これまでの参加企業＞ （敬称略・五十音順・参加当時の社名）

朝日放送テレビ／荒川化学工業／エネゲート／FCM／大阪ガス／大阪ガスケミカル／大阪ガスマーケティング／大阪冶金興業／沖電気工業／オリックス不動産／金井重要工業／カネカ／川崎重工業／関西電力／KANSOテクノス／関電L&A／かんでんエンジニアリング／関電システムソリューションズ／関電パワーテック／神戸製鋼所／近鉄グループホールディングス／きんでん／栗本鐵工所／KDC／最上インクス／堺化学工業／三信建築設計事務所／三洋化成工業／GSユアサ／JRC／ジェイテクト／島津ビジネスシステムズ／情報システムエンジニアリング／神鋼環境ソリューション／新コスモス電機／親和運輸／住友電気工業／積水インテグレート／リサーチ／積水化学工業／善友金属／ゼンユー／ソフトウェアエンジニアリング／Daigas ガスアンドパワーソリューション／大日本除虫菊／ダイセル／ダイヘン／太陽刷子／タカラベルモント／タクマ／竹中工務店／椿本チエイン／TOA／東西化学産業／東洋紡／中尾フィルター工業／ナルックス／日本カタン／日本製鉄／日本ビラー工業／日本触媒／日本ネットワークサポート／日本バルカー工業／パナソニック／阪急阪神不動産／日立製作所／日立造船／富士インパルス／フジキン／プロト／古野電気／北海道住電スチールワイヤー／ホンダエンジニアリング／三菱電機／三ツワフロンテック／村田機械／メタウォーター／モリタ製作所／和歌山大学

## 参加申込書（第13期）

**メール:innovation@ostec.or.jp**（大阪科学技術センター 技術振興部 篠崎宛）

申込締切日：2024年7月22日（月）まで \*定員に達し次第、締切ります

機関名：		
所在地：〒 TEL：（ ） — FAX：（ ） —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

### 個人情報の取扱いについて

- ・本ワークショップへのお申込みにあたり、個人情報保護のため、（一財）大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
- ・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業のご案内以外には使用しません。
- ・個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。